

【石澤亮一先生】

演題 「自社が取組むデジタル時代の歯科技工所経営スタイル」

抄録

2000 年より歯科技工へのデジタル化が始まり、歯科技工所を取り巻く環境も大きく変わっていった。

デジタル化の大きな潮流は不可逆的であり一層のデジタル時代を見据え、どういう方向で事業のスタイルを方向づけていくか、各技工所の考え方も多様化し、ラボオーナーの経営方針と経営スキルが重要となる。

加えて、歯科技工士不足は深刻でただでさえ少ない歯科技工士をいかに育成していくか、早い時期での戦力化を目指しつつ現実とのジレンマを感じている方も多くいるのではないかと推察される。歯科技工業界のためにも将来の歯科技工士を育成していくことは、重要な責務であることは間違いない。

本講演では、アナログとデジタルの融和を図りつつ収益確保し、設備投資をどのように行っていくか、悩みながらも経営の軸をどこに持っていくかなど、考えなくてはいけない課題が山積されている歯科技工業界において、歯科技工所経営という視点から、自社の経営スタイルをお示ししつつ、歯科技工所の経営の在り方について共有してみたい。